

## 第2学年2組 国語科書写学習指導案

平成21年12月8日（火）第3校時

授業者 教諭

### 1 単元名

かん字を書いてみよう（二）

### 2 単元の目標

- ・筆順や画の間、文字の中心に関心を示し、意欲的に調べようとする。（関心・意欲・態度）
- ・漢字の筆順に注意して書くことができる。（言語2イ）
- ・漢字の画や点の間を理解して書くことができる。（言語2イ）
- ・文字の中心を理解して書くことができる。（言語2イ）

### 3 単元について

筆順については、5月の「かん字のひみつをさぐろう」で『横から縦へ』『縦から横へ』『左払いから右払いへ』書くという原則を学習した。本単元では、これらの筆順の原則を振り返るとともに、新たに『下に突き抜ける画は最後に』『くにがまえの下の横画は最後に』『しんにようは後に』という原則を学習する。

次に、画間について、『画と画の間、点と点の間は同じぐらい空ける』という原則を学習する。これは、字形を整えるうえで、欠かせない要素である。

最後に、『字の中心に気をつけて書く』という原則を学習する。縦書きの場合は『左右の中心がどこにあるか』に気づかせ、横書きの場合は、『上下の中心（行の中心）をそろえる』ことに気づかせる。この画間と文字の中心の学習は、書写では2年生になって初めて取り扱う大切なものである。本単元での学習をきっかけに、文字の中心を意識して書けるように習慣化を図りたいと考えている。

### 4 児童について（男子19名、女子18名、計37名）

新出漢字の筆順学習や書写の学習が好きな児童が多く、丁寧に整えて書こうという気運は高まっている。毎日のように出る宿題の漢字書き取り練習も、数名の児童を除いて丁寧に書いている。しかし、連絡帳や国語ノートなどになると乱雑な文字を書く児童が多くなる。短時間にたくさんの文字を書いたり、あわてて気もそぞろになって書いたりするからだと思われる。そこで、丁寧に書いてあるときには、花丸をつけたりシールを与えたりして賞賛し、丁寧に正しく文字を書く喜びや意欲を喚起している。

また、2年生になって画数の多い漢字や形の取りにくい漢字を学習するため、字形を整えることの難しさを感じている児童が多い。補助線の入ったノートを使ってはいるが、マスの中心に無頓着だったり、画間に気を配れなかったりしている。本単元で、画間や文字の中心について学習し、字形を整えるための見方・書き方を体得させていきたい。

### 5 指導について

字形を整えて書けるようになるためには、試書をもとに自己の文字の課題をつかむことが大切である。しかし、2年生の段階では見ただけではなかなか課題がつかみにくい。そこで、具体的な操作活動を取り入れ、楽しく興味を持って課題をつかませたい。本単元では、書き順学習の時「かご書きワークシート」に最後の画だけ色づけしたり、画や点の間の学習の時「点画ピース」を並べ替えて文字を完成させる活動をしたり、文字の中心の学習の時『中心線T P シート』で自己評価させ自己の課題を見つけやすくさせたりしたい。

2学年部会テーマ「しっかり聞き、つながり合う子の育成」の具体的な取り組みとして、授業においては、話し合いの場面を多く取り入れていくようにしている。本単元でも、「点画ピース」の操作活動においてグループごとに話し合いながら完成させていくようにしたり、試書と清書を比べ相互評価する場面で、隣同士で話し合い、アドバイスしたり賞賛したりして、互いにつながり合うように工夫していきたい。

6 指導計画（5時間配当）本時3／5

時	学習内容	ねらい	関	知	技	評価規準
1	筆順には原則があることを知り、筆順に注意して「半、牛、電車」などの漢字や語句を書く。	漢字の筆順に注意して書くことができる。	◎	○		(関心・意欲・態度) 漢字の筆順の原則に興味を持っている。
2	「画や点の間」を見て、画や点の間はどのように空けるかを知り、注意して「朝、時、時間」などの漢字や語句を書く。	漢字の画や点の間に注意して書くことができる。		◎	○	(知識・理解) 横画・縦画・斜めの画の画間や、点と点の間をどのように空けるのか理解している。
3	中心線を引いて文字の中心の理解を深め、中心が分かりやすい字、分かりにくい字や語句を書く。	文字の中心を理解して書くことができる。		◎	○	(知識・理解) 文字には、中心が分かりやすい字、分かりにくい字があり、どのように書くとよいか理解している。
4	文字の中心に気をつけて、「しらべたこと」を横書きで書く。	文字の中心を理解して書くことができる。		◎	○	(知識・理解) 横書きの文字の中心のそろえ方を理解している。
5	年賀状を書く。	これまで学習したことを生かして、心を込めて年賀状を書くことができる。	◎		○	(関心・意欲・態度) 相手や目的を考えながら、意欲的に年賀状を書いている。

7 本時の目標

文字の中心がどこにあるかを理解し、漢字や語句を書くことができる。

8 準備物

(教師) こま、中心くん (キャラクター)、拡大文字  
(児童) TP シート、ワークシート

9 本時の学習過程

学習活動	支援(・)と評価(☆)
○本時のめあてを知る。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">文字の中心に気をつけて書こう</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心がずれているこまと、中心が合っているこまを回させ、中心の大切さに注目させる。さらに、「中心くん」を出し、左右のバランスにも着目させる。</li> <li>文字の中心がそろっている字例と、そろっていない字例を黒板に提示して「文字の中心をそろえる」と字形が整うことに気づかせる。</li> </ul>
○基準を知る。	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心が分かりやすい文字 中心線上に縦画がある。 縦画を中心に上下・左右のバランスをとる。</li> <li>・中心が分かりにくい文字 中心線が文字のどこを通るかを調べ、書く目安にする。</li> </ul> <p>○試し書きを基準に照らして自己評価し、課題を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ T P シートを当てて自分の課題を見つける。</li> </ul> <p>○自分の課題にあった練習をする。</p> <p>○文字の中心に注意してまとめ書きする。</p> <p>○自己評価する。</p> <p>○相互評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試し書きとまとめ書きを比べて、よくなったところや気づいたことを互いに見つけ合う。</li> </ul> <p>○次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心がどこにあるかはっきり分かるように、定規を使って赤鉛筆で中心線を引かせる。</li> </ul> <p>☆試し書きを基準に照らして自己評価し、自分の課題を決めることができたか。</p> <p>(ワークシート・発言・・・知)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の課題追求の気持ちを持続させながら練習させる。</li> <li>・特に、「日記」「音楽」「教室」など、2文字が続く場合は、中心になる文字を目安に確かめながら書かせる。</li> <li>・ 試し書きとまとめ書きとを比較し、学習の成果や未解決の課題を確認させる。</li> </ul> <p>☆友達が書いた文字について、よくなった点を互いに見つけ合うことができたか。</p> <p>(発言・観察・・・関・意・態)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ OHCで児童の作品を提示し、よくなったところを発表させる。</li> <li>・横書きの文字の書き方の学習をすることを知らせる。</li> </ul>
--	---

## 10 授業の観点

文字の中心を理解させるために行った具体的な手立ては効果的だったか。